

## 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

### 保湿スキンケアの本質を正しく理解する

保湿スキンケアの本質について、以下のようにまとめました：

1. 洗顔
  - ・ 洗顔料を使った洗顔は、皮膚バリアの要である細胞間脂質のラメラ構造を構成する脂質層の脂質を溶解させ、保湿化粧品の成分を肌に浸透させるための重要なステップです。
2. 化粧水：
  - ・ 肌に水分を補給し、乾燥を防ぐ役割があります。
  - ・ 乾燥は皮脂の過剰分泌を引き起こし、過酸化脂質の生成を促進する可能性があります。
  - ・ しかし、皮脂は皮膚バリアの主要な要素ではなく、皮脂が酸化してもぬるま湯洗顔で落とすことができます。皮膚バリアの要は、細胞間脂質のラメラ構造を構成する脂質層です。この脂質層が合成界面活性剤や紫外線、活性酸素によって損傷すると、皮膚バリアが壊れます。
  - ・ 化粧水は乾燥を防ぐための補助的な役割として理解することが重要です。
3. 乳液とクリーム：
  - ・ 油分と水分を乳化させるために、合成界面活性剤を使用します。
  - ・ 適切な油分は、皮膚の表面に薄い膜を物理的に形成し、水分の蒸発や異物侵入を防ぎます。また、外部の酸素や紫外線から細胞間脂質のラメラ構造を構成する脂質層の酸化を防ぎます。
  - ・ これにより、皮膚のバリアをサポートしますが、補助的な役割として理解することが重要です。
  - ・ しかし、合成界面活性剤が浸透すると、細胞間脂質のラメラ構造を構成する脂質層の脂質を溶解し、皮膚バリアを破壊する逆効果が生じます。多くの人はこの科学的事実を知らないことが多いです。

皮膚バリアの要である細胞間脂質のラメラ構造を構成している脂質層が合成界面活性剤で溶解したり、紫外線と活性酸素の連携で過酸化脂質に変わったりすると、皮膚バリアが壊れます。このことが美しい素肌や皮膚老化、他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌の実現を妨げる原因となっています。この問題を洗顔後に化粧水・乳液・クリームという保湿スキンケアの基本手順で解決できるのか、皮膚科学や皮膚バリアの科学から見ても、解決できないのです。

リノール酸を含む合成界面活性剤を使用しないエマルジョン化粧品で、洗顔後に皮膚バリアを強化し、美しい素肌や皮膚老化や他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌の実現を図るのが正しいスキンケアです。

このような肌を実現するためには、肌が潤うことが非常に重要です。しかし、単に「肌を潤す」だけの保湿スキンケアは、却って、美しい素肌や皮膚老化、他の様々な肌トラブルの解消、化粧映えのする肌の実現を妨げる原因となっていることを知りません。ほとんどの方が行うこの保湿スキンケアの本質とは、「一時的に肌を潤すだけ」ということを理解していません。